

教育の窓

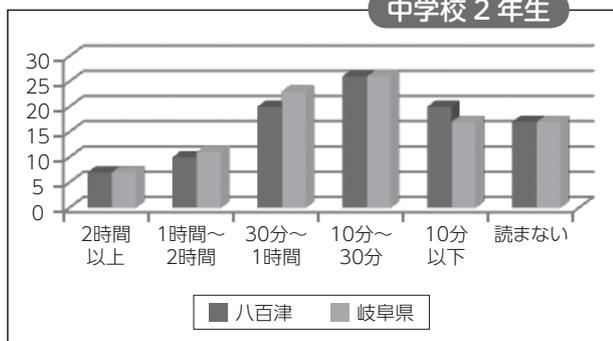
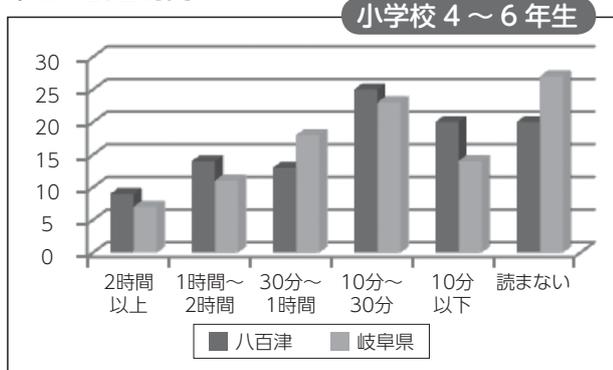


子どもは読書で大きく育ちます

子どもたちに本との出会いを多くさせたい。

ビデオ、携帯を始めとして、さまざまな情報機器が活用される現代において、読書の大切さが見直されています。幼児期から読書に親しんで成人となられた方は、自分自身を大切に作る心が育ち（相手を尊重できる）、心が豊かである、人と人をつなぐコミュニケーション能力が育っていると言われていきます。八百津町も子ども読書活動推進に向けて取り組んでいます。

平日の読書時間



表からは、小学生の読書離れが特徴的です。読書を好まない傾向が続くと、特に学習への意欲が失われることもあり、勉強嫌いとなる傾向も生まれています。

—幼児からの読書が学力を高める源になります—

0歳から2歳では、読み聞かせで音やリズムを楽しみましょう。

家族の声は赤ちゃんや幼い子どもにとって特別です。子どもに愛情を持って表情豊かに言葉をかけます。

- ・子どもの好きなものが載っている
- ・身近な動物や植物が登場する
- ・生活にふれ、言葉や音の繰り返しがある

おすすめ
絵本



2歳～6歳頃の読み聞かせでは言葉やジャンルを広げます。物語は想像力を育てます。

子どもは繰り返しが大好きです。気に入った絵本や場面は何度でも読みましょう。

- ・昔ばなし・物語、童話
- ・科学絵本
- ・生き物図鑑 など…

おすすめの
絵本や本

小学校入学以前に、家庭で読み聞かせをしてもらった子どもは、読んでもらわなかった子どもより、小学校2年生で読書に対する興味が30ポイント、授業の楽しさで20ポイント高く、小中での国語・算数・数学の正答率が高くなります（PISSの調査）。

推進目標 読書を楽しみ豊かな心が広がる八百津の子ども
八百津町の保育園から中学校までの読書推進構想

保育園 言葉の力、感じる力、本大好きをめざす

- ・毎日の読み聞かせや紙芝居で本大好きっ子
- ・絵本や図鑑などを保護者と共に読む習慣づくりの啓発

乳幼児学級での啓発

小学校 本に親しむ基礎づくり

- ・朝読書の継続 毎日一冊図書室の本
- ・図書館祭りや児童委員会の充実
- ・読み聞かせ活動や本の紹介活動
- ・図書カード登録 ・学校図書環境整備



中学校 心を豊かに鋭く諸活動

- ・朝読書の継続
- ・国語授業による多様な読書の楽しみ追究
- ・学校図書室環境整備と生徒の委員会活動活性
- ・ICT活用（ネットワーク化）



大人の読書が子どもの読書に大きく影響しています。

一日のわずかな時間でも読書に親しむ習慣を付けることで、飛躍的な心ややる気の発達が期待されます。

八百津町中央公民館の図書室や、各出張所の図書室を利用されることもお勧めです。